



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 エスエルディー
代表者名 代表取締役社長 青野 玄
(コード：3223 東証 JASDAQ スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 伴 直樹
(TEL. 03-6277-5031)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表しました平成 29 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、固定資産の減損処理に伴う特別損失の計上を行うことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,806	百万円 151	百万円 158	百万円 70	円 銭 54.21
今回修正予想 (B)	5,485	△99	△98	△206	△158.11
増減額 (B-A)	△321	△250	△257	△277	
増減率 (%)	△5.5	—	—	—	
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,272	105	130	12	9.95

(2) 修正の理由

空間プロデュース案件やイベント等のコンテンツ企画サービスは好調であるものの、飲食サービスにつきましては、主に既存店舗の客数が当初計画より下回って推移している状況であります。グランドメニュー改正等の改善施策を順次図っておりますが、その効果の発現は主に来期以降になる見通しであり、また、6 店舗の出店計画につき、当社出店方針に照らし合わせて候補物件を慎重に検討した結果、4 店舗の出店となる見込みから、売上高につきましては、前回予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、上記売上高推移の中、原材料費のコントロールは達成したものの、来期以降を見据えた人材の確保及び定着率向上に向けた組織体制の整備に係る費用等はほぼ予算通り消化したためコスト負担増となり、営業利益及び経常利益をそれぞれ修正いたします。当期純利益は、減損処理に伴う特別損失の計上を織り込んで修正いたします。

2. 特別損失の計上について

平成 29 年 3 月期第 3 四半期において、一部の収益性が低下した店舗の固定資産につき、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 94 百万円を特別損失として計上するものであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上